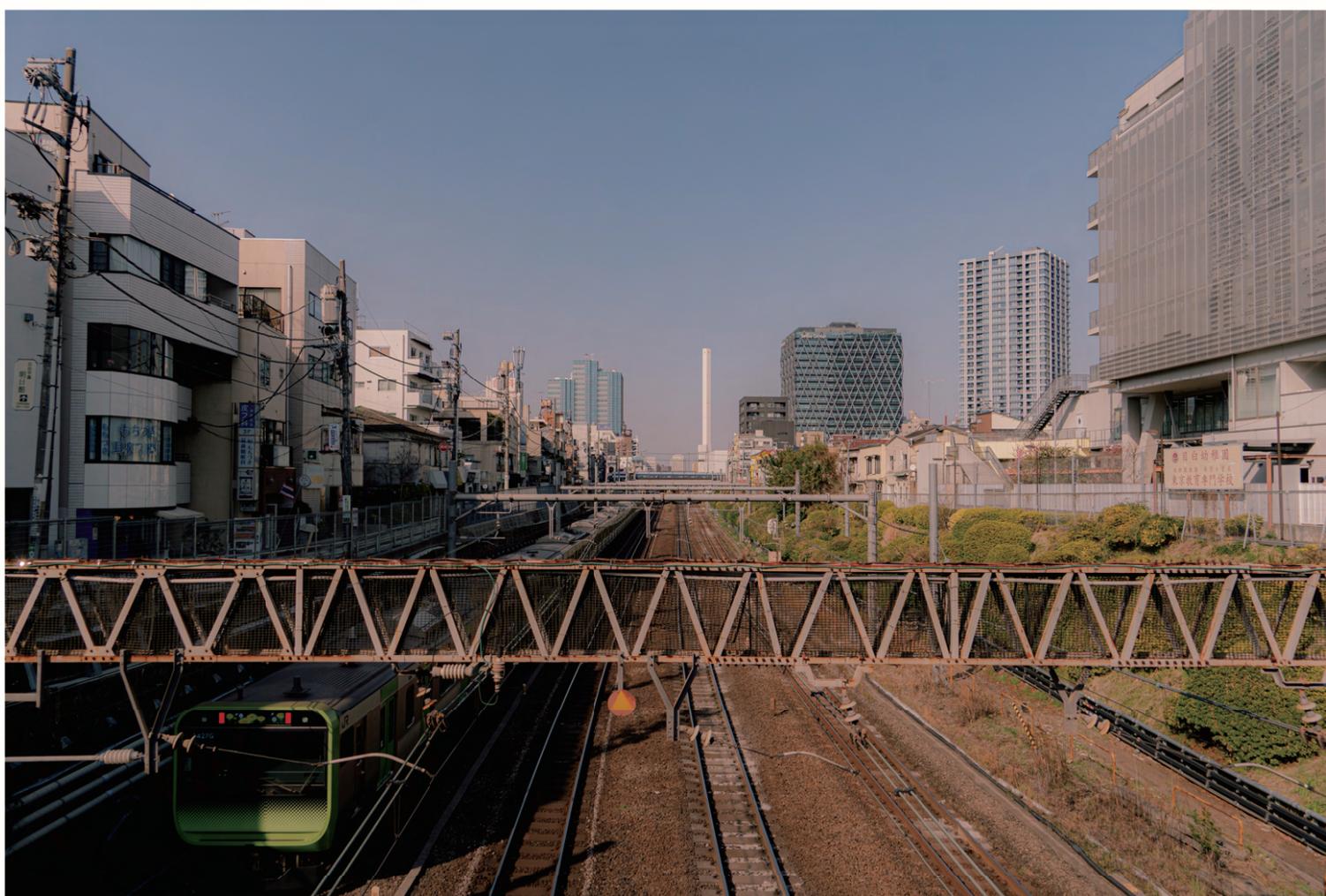


豊島支部青年部

設立20周年記念誌



挑みつづける、変わらぬ意志で。

 東京商工会議所



サンシャイン60からの夜景

豊島支部 青年部 運営要項

本会は、次に掲げる事項を目的とする。

- (1) 21世紀を担う若手経営者、後継者、管理職等、各層のビジネスパーソンの自主的な研鑽、交流の場を提供し、資質の向上を図ること
- (2) 地域社会の発展に貢献できる人材を育成すること
- (3) 東商・豊島支部の次代を担う人材を発掘、育成すること等

本会は、目的を達成するため、次に掲げる事業を行う。

- (1) 環境変化に伴う企業の経営課題とその対応策等に関する調査・研究
- (2) 地域社会の活性化、社会貢献に関する活動
- (3) 東商・豊島支部の事業活動への参画
- (4) 会員相互の交流、親睦のための事業
- (5) その他、会の目的を達成するために必要な事業

目次

深山幹事長ご挨拶	4
豊島支部青年部 20 周年への祝辞	5
渡邊裕之会長インタビュー	6
歴代幹事長座談会	9
青年部の事業の歴史	14
20 周年記念誌制作委員より	26



池袋西口公園「GLOBAL RING」

深山大介幹事長ご挨拶



東京商工会議所
豊島支部青年部
幹事長
深山 大介

東京商工会議所豊島支部青年部は、2002年に発足してから2022年で設立20周年を迎えることができました。これもひとえに、私たちの活動へのご理解と温かいご支援、ご協力を頂きました東京商工会議所豊島支部渡邊会長をはじめ役員の皆様方、豊島区、関係諸団体の皆様の賜物と心より感謝申し上げます。

青年部設立以来続いております「夢サポート事業」をはじめ様々な事業を行うことを通じ、会員のチャレンジ精神をより一層高め、会員間の交流や絆を深めることができていることは、諸先輩方が築いていただいた青年部の精神が今もなお色あせることなく受け継がれていることに他なりません。

その精神があったからこそ、コロナ禍という未曾有の事態にも揺るぐことなく、乗り越えてくることができました。緊急事態宣言が発出された当時は、ほぼ全ての事業が行うことができないなかでも、平時に戻った際に何ができるかを模索し、青年部のリスタートを力強くすることを諦めずに考え続けておりました。その苦しい期間を乗り越えてきたことが私たちの自信となり、私たちの活動に共感してくれた新たな会員の増加にもつながっているのではないかと考えております。

その経験を活かし、今後も青年部は、今まで続けてきた事業や社会貢献活動を更に活発にするとともに、本部青年部や他支部青年部の皆様にもご協力を賜り、新規事業や女性会員の増強などリノベーションを推し進め、絶え間なく前進していく所存でございます。

最後になりますが、今後とも青年部に対し、これまで以上のご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。幹事長としてのご挨拶とさせていただきます。



2023年4月26日総会にて

豊島支部青年部設立20周年への祝辞



豊島区長
高際 みゆき

豊島支部青年部が創立20周年を迎えられましたことを、心よりお祝い申し上げます。

青年部は、次代を担う若きリーダーの皆さんが定期的にセミナーや勉強会を通じて研鑽を行うとともに、業種を超えた会員の相互の交流を活発に行っておられます。

私は、区長に就任して早々に、青年部の皆さんと懇談させていただきました。子どもや若者に対する施策からこれからのまちづくりに至るまで、幅広く区政方針についてお話したところ、皆さんから「地域社会に貢献し、地域を明るく元気にしたい」という情熱にあふれる言葉を数多くいただき、大変心強く感じたところです。

そして、青年部が長年に渡って取り組まれている「夢サポート」事業は、子どもたちがあこがれる職業の関係者と接点をもつことで、夢の実現に近づけることを目的として実施されており、子どもたちの未来に明るい光を照らしてくださっています。

本区も、誰もが夢や希望を持ち、活躍できる、「ひと」が主役の区政の実現に向けて、全力で取り組んでまいりますので、引き続き、青年部の皆様にも、お力添えを賜りますようお願い申し上げます。

結びに、豊島支部青年部の益々のご発展を祈念し、挨拶いたします。



東京商工会議所
豊島支部
副会長(青年部担当)
渡邊 藤郎

この度、豊島支部青年部が設立20周年を迎えられましたことを、心よりお祝い申し上げます。

豊島支部青年部は、次世代を担う人材を育成することを目指したチャレンジ21から始まり、現在では子どもたちの夢を応援する「夢サポート事業」を軸として各事業を展開しております。

豊島区長や豊島区議の方々との意見交換会を通し豊島区の魅力や豊島区が抱える課題について考えること、豊島法人会青年部会や東京青年会議所豊島区委員会、東京中小企業家同友会豊島支部などの地域経済団体に所属する若手経営者間の交流、夢サポート事業におけるFC東京サッカークリニックに代表される青少年育成事業、宿泊研修会や企業視察会といった外部での活動を通し、商工業の発展に前向きに取り組みながら、地域や行政など、経済社会との懸け橋となる存在であることが大きな特徴です。

歴代幹事長の強力なリーダーシップをもとに青年部員が一丸となって事業に取り組む姿からは、大変感銘を受けるとともに、私自身も力をもらっていると強く感じます。豊島支部青年部担当副会長として、今後の事業活動を全力で支えていく所存であります。

結びに、豊島支部青年部のさらなる活躍と益々の発展を祈念し、挨拶いたします。



東京商工会議所
本部青年部
会長
井上 博貴

この度、豊島支部青年部が設立20周年を迎えられましたこと、心からお祝い申し上げます。

豊島支部青年部は東京商工会議所4番目の青年部として誕生し次代を担う人材を発掘し、育成することを目指し、チャレンジ21という名称でスタートされました。20年が経過されても変わらず失敗を恐れず、挑戦を続ける姿勢で活動されていることに感銘を受けます。

豊島支部青年部は、時代を担う青年経済人の研鑽と交流を通じて資質の向上を図り、地域社会の発展に貢献できる人材を育成することを目的とされ、青少年育成事業や講演会、宿泊研修、視察会、各団体や企業との交流懇談会、さらには区長や区議との意見交換など、多岐にわたる活動を行ってこられています。これまでの活動を通じて、豊島支部青年部は地域の魅力を発信し、商工業振興について考えるとともに、メンバーの成長や企業の発展にも取り組んでこられています。その姿勢と、行動力は同じ青年部を任せられる私としても見習いこれからの活動にも活かしていきたいと考えます。これまでのご尽力に敬意を表し、今後も本部青年部の活性化に向けてご助力をいただくことを期待しております。

最後になりますが、心からのお祝いと感謝の気持ちを込めて、ご挨拶申し上げます。豊島支部青年部の皆様の今後のさらなる飛躍に活力が満ち溢れることを願っております。

豊島支部渡邊裕之会長インタビュー

2024年2月2日 実施



東京商工会議所豊島支部青年部 副幹事長
東京商工会議所本部青年部 副会長

倉田 大輔

東京商工会議所豊島支部 会長

渡邊 裕之

著名人の「チャレンジ21」からのスタート

倉田 まずは、青年部設立当初の2000年頃、どのような状況だったのか、またご苦労された点などについてお聞きしたいです。その頃の話詳しく教えていただけますか？

渡邊 最初は豊島新聞社の阿部裕治さんが鈴木正美豊島支部副会長(当時)から、「チャレンジ21」という次世代を担う会合体を作りたいという話を受けました。目的は会員同士のアライアンス効果を生み出し、異業種の経営者や将来の幹部候補などが集まり、新しい事業を生み出すことでした。そこから、阿部さんが初代リーダーとして2年間活動されました。当初はお互いの近況を話す飲み会のような集まりの場でしたね。

2002年には豊島区政70周年を記念して、豊島支部青年部とし

て「夢サポート事業」を開始しました。これは子どもたちの夢を支援する事業で、まずは開催にあたって豊島区内の小学生にアンケートを実施しました。また、高野之夫前豊島区長の支援もあり、学校ごとの参加状況に応じてアプローチを変え、様々な夢を具現化した活動を行いました。例えば、プロ野球の工藤公康選手(当時読売ジャイアンツ投手)による野球教室を開催したことが懐かしいです。サッカー教室もやりましたね。



工藤選手の野球教室の様子

また、ダンスに興味がある子どもたちにはエイベックスのダンス講師をお招きし子どもたちにレッスンを行っていただきました。このように、

「夢サポート事業」は現在に至るまで子どもたちの夢を支える多様な活動から成り立っています。

私は当時の豊島支部会長(渡邊輝氏)が実父だったこともあり、青年部幹事長になることに後ろ向きでした。そのような経緯もあり、中村安次さんが初代幹事長に就任することとなりました。その後も、2代目幹事長として新倉弘織さんが中村さんの跡を継ぎ活動を続け、私は幹事長をバックアップするため、顧問として関わりました。

東商豊島支部青年部の活動は、税知識の普及など具体的な目的を持つ法人会の青年部とは異なり、仕事や飲み会など様々な形での交流を図ることが中心でした。定期的な活動は周年事業や特定のプロジェクトに限られていましたが、それ以外の時期にも自由に活動していました。当時は東商の本部と支部間の交流は限られていましたが、最近では倉田さんにもお話

を伺いましたが、本部の活動や他支部青年部との交流が増えてきたようです。

鈴木豊島支部副会長は、青年部が自由に活動する機会を与えてくださいました。また様々な会議やイベントに参加いただきました。その環境下で、自由に活動をさせていただいたと思います。鈴木副会長は青年部会員から区議会議員になるような人たちが出れば良いとお話をされておりました。3代目幹事長の池田さんが区議会議員になったことも納得だと思います。

倉田 サポート事業の、野球やサッカー、ダンス教室を企画する際にどのような進め方をしていましたか？

渡邊 サッカー教室は私が話を進めましたが、工藤選手に関しては誰が声をかけたのか記憶が定かではありません。野球教室開催の際に工藤選手は大量のマイクロバスで、多くのスタッフを連れてきて、グローブやボールなど、参加した子どもたちに配れるほどの多くの物を持参されたことを覚えています。工藤選手自身はそういった子どもたちを対象とした活動をご自身でされていたようです。青年部の誰かがその活動を知りお声がけしたところ、喜んで参加してくれました。その経験から、サッカー教室「FC東京サッカークリニック」を企画する際は、子どもたちが憧れるような選手を呼ばなければと感じました。私はサッカーに詳しくないですが、FC東京所属の若手選手が来て、サッカー好きな子どもたちは大変喜んでいたので思い出します。その時も工藤選手の時ほど膨大な量ではありませんでしたが、ボールなどのプレゼントを用意しました。

倉田 その当時、豊島支部青年部はチャレンジする精神で、普通で

は考えられないようなアプローチをしていたと思います。読売ジャイアンツのような大きな組織に所属している工藤選手に対しても、何か共同でやろうと声をかけること自体が当時、非常に珍しい試みだったのかもしれませんが。

渡邊 確かに、プロ野球の選手が実際に投げるボールを目の前で見た時は、私たち大人も感動しました。子どもたちにとっても、現役のプロ選手から直接学ぶことは、夢を持つ上で大きな刺激になったはずです。「夢サポート事業」の一環として、子どもたちに夢を持たせるような素晴らしい機会を提供できたことは間違いのないでしょう。また、エイベックスから来たダンスインストラクターも、当時はまだ若手で、その後有名になったかどうかはわかりませんが、売り出し中の若くて才能のある方が協力してくれたと思います。そういった才能あるプロの方が参加すること自体が、子どもたちにとっても、私たち大人にとっても、新たな刺激となり、夢を広げることになったのではないのでしょうか。

創世記の苦労があるから こそ、今の青年部がある

倉田 近年は新型コロナウイルス感染症の影響もありましたが、青年部の事業においては、10年前に行っていた活動を前例踏襲する形で事業を行っている傾向があります。としまおやこコンサートなどは比較的新しい取り組みですが、「FC東京サッカークリニック」などでの様々な苦労や準備をした経験が活かされていると思います。

また、現在の青年部では支部事務局に事業運営を任せてしまう傾向になりがちな点が課題としてあります。これは青年部会員自身が直接関わることの重要性を再認識する機会かもしれません。直接事業

に関わることで得られる経験や学びは、得難いものでもあるため、各会員が積極的に参加し、企画や運営に携わることが望まれます。

渡邊 流れが一つできてしまい、惰性的になってしまっている面はあるかもしれませんが。例えば「FC東京サッカークリニック」など毎年行われている活動がありますが、これらの活動は、子どもたちの安全対策や新型コロナウイルス感染対策などを除けば、大きな仕組みの変更がない限り、比較的安定して運営できているのかもしれませんが。積み重ねてきた経験があるため、大きな負担となることなく、活動を継続できている部分もあるでしょう。

また新年賀詞交歓会でも東京音楽大学の先生から感謝の挨拶を受けるなど、外部との協力関係も構築されているようです。しかし、大変な負荷をかけて活動を継続するとなると、活動がなくなってしまう可能性もありますのでメリット・デメリットの両面を検討する必要があると考えられます。

倉田さんのように本部に行き、本部青年部の課題に取り組む人がいる一方で、若い人ががどンドン参画してこない活動の持続が難しくなる可能性もあります。青年部においても若い世代の参画を促進することが、今後の大きな課題となっているのではないのでしょうか。



現在も定期的で開催している、「としまおやこコンサート」の様子

今後の青年部について

倉田 話は変わりますが、2017年に東商本部青年部が設立されたことを契機に、23全支部に青年部が発足し、他支部や他団体と交流

することが増えています。東商の本部と支部青年部の会員は合計約1,000人が所属する大きな組織です。しかし、本部青年部で講演会などイベントを開催する時、集客に苦慮することがあります。開催情報や告知は各会員に入っているはずですが、なぜか参加に至らないこともあります。私自身は本部や他支部青年部を見ていると、「こんな活動や新しい取り組みをしているんだ」と興味を持つのですが、全体的な傾向として参加する意識が低い点が課題だと感じています。時代の傾向として捉えるべきなのか、もっと積極的に参加する様に声かけをしていくべきなのか悩ましさがあります。

渡邊 青年部だけでなく、東商の全体的な課題だと思います。本部でも、熱心に参加する人もいますが、そうでない人もいます。しかし、実際に東商の活動を見ていると「普段は滅多に聞くことのできない講師の講演が聞ける」という人もいます。もっと若い経営者が参画して、一緒に新しい事業を進めていくべきだと思います。私自身が参加しているロータリークラブも高齢化が課題となっており、若手経営者なかなか参加してくれない課題があります。

私は、青年部の垣根を越えて、もっと一緒にやっていくべきだと思います。改革していかないと、若い人が新しく入ってこない課題は東商だけが抱えているものではありません。若い人たちが入ってきて、どんどんアイデアを出していきべきです。今の時代でいえば、SNSを使ったPRなどをしていきべきですが、あまり実現していないのが現状です。例えば、インバウンド観光客向けのアプローチなどを見ても、もっと多くの施策ができるはずで、インバウンドの方は日本の商業施設だけでなく、お寺や神社などの文化的な場所にも関心があります。通訳ボラ

ンティアの活動や、異文化交流の機会が、地域の魅力を伝える重要な手段となり得ます。最終的には、SNSを活用して情報を広めることで、地域の魅力をより多くの人に伝えることができると考えています。

豊島区でもまだ取り組んでいないことが多くあり、力を入れるべき分野があります。例えば、イケ・サンパーク(”としまみどりの防災公園”の愛称)は地域からの要望が多く、ようやく対応するようになりましたが、防災公園としての機能もあります。



東池袋のイケ・サンパーク

青山の「こどもの城(国立総合児童センター)」にあった雨や日差しを防ぐことができる簡易的な屋根を設置する装置のように、区や民間企業などが資金を出し合って設備を整えることも一つの解決策と考えます。高際みゆき区長になってから、区民の意見を反映する形で、改善に向けた動きがあるようです。

また、最近の傾向として昼間にコスプレイヤーが池袋に多く集まるようになりました。実際にサンシャインシティ前のスターバックスコーヒーのある広場では、特定の曜日に多くのコスプレイヤーが集まり、その光景は驚くほどです。マンガやアニメ、コスプレといった文化は池袋はじめ豊島区にとって大きな可能性を持っています。行政には、このような文化に対する若い感覚を持った職員も多くいます。例えば豊島支部青年部などと連携し、新しいアイデアを形にしていくことで、地域は大きく変わる可能性があります。

情報の共有も地域間の交流の促進がもっと必要であるという指摘もされており、サンシャインシティのように地域とのコミュニケーション

を図る部署を設けることの重要性が語られています。実際にサンシャインシティの若手社員たちは、地元の銭湯やサウナや岩盤浴を利用しており、そこでクリエイターたちとの交流が生まれています。この地域の居酒屋や飲食店も、彼らがよく訪れる場所です。サンシャインシティの合場直人社長は駒込から東長崎まで、飲食店を訪れるために毎日歩いているそうです。サンシャインシティの運営だけでなく、物件情報の取得も行っており、合場社長が丸の内や大手町で得た地域密着型のビジネスモデルを豊島区でも展開しているようです。そういう人たちが共通の情報を持って活動できるようになれば、更にパワーが増すと思います。もう私たちの年代ではなく、青年部世代の皆さんが新しい層を担って、その下の層とどのように進めていくかが重要だと思います。よく豊島支部会長として、私たちの年代の人たちが若い人を増やしてほしいと言われます。私は特にITを活用して、もっと若い人たちが参加しやすい環境を作りたいと言っています。新しいことを始めない人がいると困ります。情報共有の方法も大きく変わってきており、そうやってほしいと思います。

倉田 地域を知り地域で活動する青年部をはじめとする若い人々のパワーや活力は重要になりますね。本日はありがとうございました。

歴代幹事長座談会

2024年2月8日 実施



第2代幹事長

新倉 弘識

2010年度～2011年度

現幹事長

深山 大介

2020年度～現職

第3代幹事長

池田 裕一

2012年度～2014年度

第4代幹事長

原 正晃

2015年度～2019年度

初代幹事長

中村 安次

2002年度～2009年度

夢サポート事業からの始まり

倉田 まずは、それぞれの幹事長時代のご経験をお聞かせいただきたいです。よろしくお願いいたします。

中村 改めまして、初代幹事長を務めました中村安次です。本日はお招きいただきありがとうございます。

私は豊島支部青年部の皆さんにお会いするたびに、「感謝している」という言葉を強く思い浮かべます。豊島支部青年部が正式に発足する2002年度までは、「チャレンジ21」という名称で若手経営者を中心に講演会を開いたり、岩手県にある一関商工会議所青年部との交流会を開いたりといった活動をしていました。当時は右も左もわからない状態でしたが、豊島支部の第2代会長である故渡邊輝会長や、第3代会長である故鈴木正美

会長(当時副会長)からご支援をいただきながら、豊島支部での青年部発足に向けて2年間準備しました。先輩方からご推薦もいただき、2002年度からは正式に豊島支部青年部の初代幹事長を喜んで引き受けました。

青年部の事業軸をどうするかと言った時に、たまたまその当時、私がPTAの会長を務めており、普段から子どもたちとの接点が多くあったことから、青年部として、東京商工会議所として、次世代を担う子どもたちに何かできないかという考えに至り、当時の青年部会員の皆さんと話し合いながらお話を進めました。

まずは当時の子どもたちがどのような夢を思い描いているのかを調査することから始めました。豊島区内の学校の校長先生に相談して、子どもたちが描いた夢を25校すべての学校から提出していただきました。1番多かった夢はサッカー選手で、次点が野球選手でし

た。なかには音楽に関係する夢も挙がってきました。当時の青年部にはエイベックスとのつながりがあったので相談したところ、読売巨人軍の工藤公康選手(当時読売ジャイアンツ投手)が子どもたちに野球教室を開いてくれることになりました。



(株)エイベックスのダンススクール

青年部の会員と一緒に試行錯誤を重ね、さまざまな事業活動を実施してきました。それらの事業を大切に皆様を守っていただいて、今でも続けていただいていることに、青年部OBとして本当に「感謝」しています。ありがたいことに、青年部を卒業してからも何度もご連絡をいただきましたが、現役世代の皆さんが一生懸命やってくれている

ので陰からこっそり見守っていました。皆が青年部事業を継続してくれていること、他団体との交流を続けていることに、「感謝」しています。

また、当時の青年部会員全員で作らあげた青年部を皆さんが大切に守ってくれていることに「感謝」しています。これからも一層盛り上げてくれると信じています。これからも豊島支部青年部の未来と発展をお願いしたいです

倉田 工藤公康選手(当時読売ジャイアンツ投手)へはどのようにアプローチをしたのでしょうか？

中村 青年部とエイベックスにつながりがあり、課外事業を運営しているUSENグループの宇野康秀社長(現(株)U-NEXT HOLDINGS 代表取締役社長CEO)も一緒にいて、この課外事業を豊島区でもやっている方が年中顔を出しておりました。そこで子どもたちにサッカーと野球をさせてあげたいという話を相談し、工藤選手に話してみるよとなり、この話が実現しました。これは今までの繋がりの中で遠慮なく相談した結果で、工藤選手にお願いができて、お越しいただきました。工藤選手も子どもを持つ方だったので、事業に対する思いが強かったです。また、当日は子どもたちに何かプレゼントしたいという思いで、グローブなどたくさんの野球道具を持ってきていただきました。当日は天候に恵まれず、体育館での事業実施となりましたが、工藤公康選手のご尽力もあって何とか無事に終えることができました。

原 当時、巢鴨とエイベックスが親しい関係にあったことは、多くの人が知らないかもしれません。USENグループの宇野康秀さんやGMOの熊谷正寿(現GMOインターネットグループ(株)代表取締役グループ代表会長兼社長執行役員・

CEO)さん、いわゆる「ヒルズ族」の方々と繋がりがあったことは、非常に影響力がありました。この人脈を上手に活用して豊島支部青年部の事業がスタートしたことは、他の東京商工会議所の支部青年部とは異なる点でした。そこだけ切り取ると豊島支部青年部はユニークな団体ですね笑

一同 笑

倉田 続いて、第2代幹事長の新倉さんのお話に移らせていただきたいと思います。2011年の東日本大震災の出来事と、2012年に開催された第1回としまおやこコンサートについてもお話いただければと思います。

東日本大震災時の幹事長として

新倉 中村さんの後を受けて幹事長を務めさせていただきました、第2代幹事長の新倉弘識と申します。幹事長を務めた2年間で、自身の人脈が大きく広がったことを実感しました。行政とのつながりやPTAなど、いろんな関係機関との繋がりを持つことができました。そのような貴重な経験をぜひ他の青年部会員の皆さんにも体験してもらいたいと思っていましたため、私は「もう一期やりたい」という思いもありましたが、一期2年間を集中して幹事長を務めました。

幹事長としての任期中には、特に大きな事を実施したわけではないと感じています。しかし、青年部設立10周年の時の挨拶を読み返すと、当時の気持ちは今も変わらず持っていると思います。中村さんがおっしゃっていたように、中村さんが一歩身を引いた後、それが意外とやりやすかったと感じています。青年部は企業経営ではないので、どんなことでも積極的にチャレンジできるという安心感があり、

これが東京商工会議所青年部の良さだと思っています。当時の諸先輩方には申し訳ないのですが、当時は若返りを図りながら経験の少ない会員でいろいろなことに果敢に挑戦する意気込みを強く持っていました。アドバイスをくださる先輩方もいましたが、まずは私たちだけでやってみたいという意思で、失敗を恐れずに活動していました。

印象深い出来事として、東日本大震災の4日前である3月7日に、モスフードサービスとの東商議員企業懇談会があり、執行役員社長室長の阿部隆史様の講演「モスバーガーのポジショニング戦略」が非常に印象に残っています。その際のお礼の手紙をまだ大切に持っているのですが、その手紙を見るたびに、あのときの感謝の気持ちは今でも大切にしなければいけないと感じています。



(株)モスフードサービスとの懇談会

また、2011年11月には、一関商工会議所とのつながりで岩手県を訪れ、一関商工会議所の青年部と一緒に被災地支援活動ができたことも大変貴重な経験でした。青年部に入っていたからこそできた経験であり、非常に貴重な時間だったと思います。後日、陸前高田はじめ震災の被害に遭われた場所を再訪した際には、陸前高田市役所の方の講演を聞き、復興の進展について話を聞いたことが非常に印象に残っています。特に、大震災が発生したことを忘れないでほしいという強いメッセージと、東京に帰ったら周囲に現地の状況を伝えてほしいというご要望をいただいたことが強く心に残っています。被災地に直接的な支援をすることはもちろん大切ですが、現地の声を伝えるこ

とも等しく重要であると実感しました。

としまおやこコンサートについては、実際に第1回を開催したのは池田幹事長の代からですが、開催準備の期間は私が幹事長を務めていたときに始めさせていただきました。この事業が長く続いていることに非常に感謝しており、これからも形を変えてでも続けていってほしいと思っています。

幹事長を退任してからは、2013年2月に開催した鹿児島視察会が非常に印象に残っており、特に現地の方々のおもてなしに感動しました。当時、東京で大雪が降り帰れなくなるという事態が起きたのですが、現地の鹿児島商工会議所青年部の方々にご配慮いただき、おもてなしをしていただいたことが非常に印象深かったです。また、知覧特攻平和会館への訪問も強く印象に残っており、誰もが一度は訪れるべき場所だと感じました。



鹿児島知覧視察会の様子

私は、青年部の前身「チャレンジ21」として事業を実施していたときから参加して、20年近く活動を続けてきたということで、初期のころから知り合った会員とは今でも交友関係が続いております。青年部は、一生の友と出会える場所であったという実感が強くあり、皆さんには本当に感謝しております。そのような貴重な場が、これからも長く続いていくことを願っています。

倉田 東日本大震災被災地支援活動に関しては、一関商工会議所青年部の会員として私たちと一緒に活動し、現在、一関観光協会事務局長を務める菅原清忠氏にご協力いただき、当時豊島支部青年部

が一関商工会議所青年部と共に陸前高田で植樹した桜の木の現在の写真を共有いただきました。ご覧ください。



当時の植樹の様子



現在の桜の木の様子

写真提供：(一社)一関観光協会菅原清忠氏

原 すごいですね。かなり成長しましたね。

倉田 震災からの復興が進んでいるとはいえ、まだまだ復興が進んでない地域もあるようです。引き続き何かご縁をつなげられたらなと思っております。続いて、第3代幹事長の池田裕一さんお願いします。

青年部の活動が今の自分に

池田 私は初代幹事長の中村安次さんにお誘いいただき、東京商工会議所に加入しました。そして、第2代幹事長の新倉さんからのご推薦もあり、幹事長にご指名いただきました。当時35歳で、幹事長を務めさせていただいた期間は3年間でした。

幹事長としての一番の思い出は、としまおやこコンサートの運営を担当したことです。第一回で非常に心配していたのですが、いろいろな段取りを綿密に組み立てました。しかし、誰もが未経験であったため、反省点としては、皆さんに意見を聞きながらまとめていくべきでしたが、1人で一生懸命やるべきだと思い、どんどん突っ走ってしまいました。

PTAの会議や校長会などに参加して、コンサートの企画概要を紹介することも良い経験でした。また、運営マニュアルを作成したのですが、今でも青年部で使っていただいていることに感謝しています。



「としまおやこコンサート」の様子

また当初、2年間の任期を終えて辞めようと考えていた際に、区議会議員選挙への出馬を検討していたところ、事務局からは政治と商工会議所の活動を切り離すようにとの要望があり、幹事長を退任する方向で話を進めておりました。しかし、その当時の故鈴木正美会長から、「選挙に当選したら当選した時に考えろ」と、もう1年務めるようにとの要請を受け、その結果、1年間の延長をして務めさせていただきました。東京商工会議所、そして豊島支部青年部での活動を通じて多くのことを学んだこと、また、第2代幹事長の新倉さんがおっしゃっていたように多くの友人や仲間ができたことは自身にとって非常に貴重な経験でした。

青年部での活動を通じて得た大きな経験が、現在の自分を形づくる上で非常に重要であったと考えています。もし青年部の幹事長をしていなければ、今のような道に進んでいなかった可能性もあったと今では思います。青年部幹事長としての経験が自分を生み出し、一步を踏み出す勇気を与えてくれました。多くの経験を経て、現在は政治の世界で精力的に活動しています。

思い出深いのは、としまおやこコンサートやサッカークリニックの運営を担当した際のことですが、中でも特に鹿児島視察会で東京近郊の大雪の影響で帰れなくなった時に焦ったことです。ただどちら

かという事務局の方が焦ってしまっていて、対して自分は「なるようになれ」という心境でいたことを覚えています。みんながクレジットカードを持っているので、何とかなるだろうと思いつつ、どうにか解決しようとした経験は非常に印象に残っています。



「FC東京サッカークリニック」の様子

倉田 確か鹿児島視察会の時の懇親会で、池田さんの出馬の宣言があったと思います。

池田 確かそうだったと思います。その時にお伝えしたのを思い出しました。

中村 鹿児島の時の思い出がすごい残ってるんですね笑 よつぼど印象に残っているということでしょう。

一同 笑

自信しかない最高のスタート

倉田 続いて、第4代幹事長の原正晃さんをお願いします。

原 私は入会期間が長いので、歴代三人の幹事長とともに事業を行った経験が、豊島支部青年部のなかで最も豊富だと思います。初代幹事長の中村安次さんの時代には、エイベックスにご協力いただいた小学生向けのダンス教室、FC東京にご協力いただいた「FC東京サッカークリニック」、校長会への参加、豊島区長との懇談会など、多様な活動を経験しました。若いときからさまざまな経験をしており、青年部の事業については体と頭に染

み込んでいると感じています。歴代幹事長の皆さまから全てを教わり事業を担当させていただいたのちに幹事長を引き受けましたので、不安は何一つなく、「もう自信しかない」という最高のスタートでした。

一同 笑

原 誰もいなくても私1人でもできるというような。驕っているつもりはないのですが、結果的には驕りが強かったのかなと思います笑。第3代幹事長の池田裕一さんは「俺について来い」というタイプだったとのことですが、私の場合は後ろから皆を支える「私がいなくてもみんなはできるね。なぜなら私がいるから。」というタイプでした。

倉田 今までとスタイルが異なる幹事長ですね。

原 青年部の活動目的は子どもたちに向けた夢サポート事業の実施、青年部メンバー間の交流、自己研鑽で、これらを軸に活動を進めております。特に自己研鑽にかかわる事業である勉強会は、私の代では非常に盛んに行われました。2017年ごろに主担当として携わった柳沢幸雄先生(当時開成中学校・高等学校校長、東京大学名誉教授、工学博士)をお迎えした勉強会は特に印象深いです。会員増強活動も視野に入れた勉強会で、子ども教育で悩まれている保護者を中心に100名近くが集まるなど、大成功した事業です。



柳沢幸雄氏の勉強会の様子

しかし実は5年間の幹事長在任中、私は各事業責任者に指示することはあまりしませんでした。各事

業の担当幹事を決め、彼らが自らのチームを組んで活動を進めるようにしていました。

担当幹事に任せるという姿勢で、「事業報告は受けるが意思決定は全て任せる」というスタンスをとっていました。ほぼ毎月開催される定例会は意思決定機関として機能させ、事業実施に関する協議を行い最終的な意思決定をしていました。このような運営方法は、これまでの青年部とは異なるアプローチであったため、当時活動に参加した会員には苦労をおかけしたかもしれません。

青年部会員間で仲良く交流を図ることももちろん大事ですが、それだけでは記憶に残らないと考えています。実際に汗をかき、さまざまな経験をすることが、最終的に意味のある思い出として心に残ると思います。

私が幹事長を務めた5年間のうちにも一度としまおやこコンサートを開催しましたが、そのときは今の幹事長の深山大介さん(当時副幹事長)が総責任者として事業を実施しました。私はコンサート当日に挨拶を行い、当時の高野前区長とお話した程度でしたが、しっかりと事業運営ができていましたので、皆さんが非常に優秀であったことがわかると思います。皆さんが青年部にコミットしてモチベーションを高く持って活動していたと感じます。

各会員が主体的に活動し関係各所への挨拶や業務を担うことで、思い出深い多様な経験が積めるようになることを目指しました。思い出に残る事業としては、石川県金沢市、岩手県一関市、高知県高知市などへの宿泊研修会を通じて会員間で大いに交流が図られ、楽しい思い出を作ることができたと思っています。

これからの青年部に期待すること

倉田 最後に現在の幹事長である深山大介さん、お願いいたします。

深山 私が豊島支部青年部に入ったきっかけは、第4代幹事長の原正晃さんからお誘いいただいたことです。最初の定例会に参加し、焼肉屋で原さん、第2代幹事長の新倉さんと私の三人で食事をしていました。そのときは、新倉さんが幹事長をお務めであった時期の話をお聞かせいただいた記憶があります。

当時青年部に加入したばかりで、青年部の事業についてはよくわからないことも多かったのですが、初めて入ったにも関わらず皆さんにはいろいろと良くしていただきました。これが青年部を長く続けていきたいと思うようになったきっかけでした。

しかし、当時は今の幹事長という立場を担うことになるとは思ってもいませんでした。前幹事長は原さんでキャラも濃くリーダーシップも強い方でしたので、その後を引き継ぐのはプレッシャーがありました。

そして、幹事長を務めることになったとき、まさに新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行が発生しました。定例会も含めて全ての青年部事業が停止してしまいました。何もできない期間が続き、最初は楽だと思っていましたが、やはりつまらなかったです。また皆で顔を合わせて事業を進められるのはいつになるのか、非常にもどかしかったです。いつかコロナが明けて事業ができることを希望に変えながら、青年部の皆がついてきてくれることは、幹事長として大きな救いでした。

何もできない状態が続きましたが、まずは正副幹事長会議を月一回で行うことにしました。当初はオンラインだけでしたが、原前幹事長の時代に青年部会員が主体的に事業を頑張っていたおかげもあり、

正副幹事長だけでも事業の話がだんだんとまとまっていくようになりました。原前幹事長には大変感謝しております。

コロナ禍が徐々に落ち着き始めたころ、幹事長として二期目の終わりごろから、事業を少しずつ実施できるようになり、会員が実際に集まる定例会も少しずつ再開できるようになりました。このタイミングは幸運にも豊島支部青年部の設立20周年という節目でした。これまで諸先輩方が築いてきたおやこコンサートやFC東京サッカークリニックなどを継続することに加え、設立20周年記念事業として新たな取り組みを行いました。元サッカー日本代表の北澤豪さんの特別講演企画や女子バスケットボール日本代表ヘッドコーチの恩塚亨さんの特別講演企画、ナイキジャパンさんの講演企画、スポーツイベント「JUMP-JAM」など、多彩な活動を実現しました。20周年というタイミングでこれらの事業に携われたことをありがたく思います。



北澤豪さんの特別講演会の様子



スポーツイベント「JUMP-JAM」の様子

振り返ると、初代幹事長の中村さんのお話と同じように、幹事長という立場になって感じるの「感謝」の気持ちです。この経験を次の世代に引き継ぎ、彼らにも経験してもらいたいというのが、現在の私の願いです。

私の代で青年部の卒業年齢を45歳から50歳に引き上げました。

背景には、組織内の主要会員が年齢を重ね次世代のリーダーとなるべき会員も40代に差し掛かっているという現実があります。各事業の幹事や副幹事長、さらには幹事長としての経験を積んでもらいたいという願いから、先輩方には申し訳ないですが、卒業年齢の延長を決定しました。この変更は組織のルールにおける大きな転換点となり、次期幹事長の候補となる会員たちにも幹事長としての役割を担う機会が提供できました。青年部組織の持続的な成長と活動の継続を考えた結果として、年齢の壁を越えてより多くの会員にリーダーシップの経験を積んでもらうことが重要だと感じています。

私自身の幹事長としてのスタンスは原正晃前幹事長が作ったシステムをもとに進めてさせていただき、私は皆を後ろからバックアップする形式を踏襲しています。原さんが幹事長であった時代に、数多くの事業を担当した経験が、幹事長となった今大いに活かしています。

最後になりますが、これまで幹事長を務めさせていただいたことへの感謝と、次の世代に頑張っていたいただきたいという強い思いがあります。最近日黒支部青年部との交流があり、そちらは女性会員が多く幹事長も女性が務めています。豊島区も高際みゆき区長がリーダーシップを持って新しい豊島区をつくりあげていらっしゃることもあり、次の世代にはぜひ女性会員の増強に力を入れていってもらえればと思います。現青年部会員である皆さんが、新しい世代や時代のことをよくわかっていると思いますので、期待して次にバトンを渡していければと考えています。豊島支部青年部の輝かしい未来を繋いでいただきたいと思います。ありがとうございます。ありがとうございました。

倉田 みなさま、本日は貴重なお話をありがとうございました。

1878年3月12日東京商法会議所(東京商工会議所の前身)が設立され、渋沢栄一翁が初代会頭に就任。1891年東京商業会議所、1928年東京商工会議所となる。1968年12月4日東京商工会議所豊島支部設立。

2000 (平成 12) 年度事業実績 (チャンレンジ 21 時代)

— 主な事業 —

- 4月11日 発足会 講話
「激しい環境変化の中で、最近思うこと～経営者として、
東商支部会長として」
東京商工会議所豊島支部 渡邊輝第2代会長
- 6月 7日 情報・サービス分科会主催「NTT横須賀研究所&アメリカ海軍の
見学会」参加
- 7月18日 としまTV見学
講演「東京信用金庫における職員教育」
東京商工会議所豊島支部副会長
東京信用金庫理事長 上川名清次郎氏
- 9月19日 講演「21世紀における日本・東京・池袋」
東京商工会議所豊島支部副会長
池袋ターミナルビル(株)代表取締役社長 長谷川忍氏
- 11月21日 高野之夫前豊島区長との懇談会「21世紀の豊島区を考える」
- 2月17日 岩手県・一関商工会議所青年部との交流会

— 主な出来事 —

- 4月 小淵内閣総辞職し第一次森喜朗内閣発足
「東・西区民事務所」開設(豊島区)
- 6月 三宅島噴火被災住民を区施設に受け入れ
(豊島区)
- 7月 「豊島区子ども虐待防止連絡会議」設置
(豊島区)
「豊島区行財政改革懇話会」発足
金融庁発足
- 9月 「豊島区リサイクル・清掃審議会」発足
シドニーオリンピック開幕
- 10月 AFCアジアカップ2000にて日本が2度目の優勝
- 11月 「豊島区ホームページ」正式開設(豊島区)
- 12月 都営地下鉄大江戸線が全線開通
- 1月 米国ジョージ・ウォーカー・ブッシュ氏が第43代
大統領就任
西東京市が誕生
- 2月 「不法投棄ゼロとしま連絡会議」設置(豊島区)
- 3月 ユニバーサル・スタジオ・ジャパン(USJ)が大阪市
に開業

2001 (平成 13) 年度事業実績 (チャンレンジ 21 時代)

— 主な事業 —

- 7月1日 巣鴨地藏通り商店街にて一関商工会議所青年部
との交流会
- 7月24日 高野之夫前豊島区長との懇談会
「豊島区の未来を考える」
- 10月22日 高野之夫前豊島区長との懇談会
「豊島区制70周年と豊島区の将来について」
参加
- 11月13日 豊島区商店街連合会創立50周年記念式典参加
- 12月13日 豊島区長、教育長、支部役員との懇談・懇親会
- 2月16日 池袋新生ビジョン21シンポジウム参加
- 2月28日 駒込小学校校長との懇談会
「区制70周年記念事業実施への意見交換」

— 主な出来事 —

- 4月 小泉純一郎氏が第87代内閣総理大臣に就任
南池袋小学校(高田・雑司谷・日出小を統合)、
巣鴨北中学校(大塚・朝日中を統合)開校
(豊島区)
- 6月 岩手県一関市と非常災害時等の相互応援協定を
締結(豊島区)
- 7月 「子ども虐待防止対応マニュアル」発行(豊島区)
- 8月 東池袋4丁目地区再開発ビルに設置する「新中央
図書館」「交流施設」の基本計画策定(豊島区)
- 9月 東京ディズニーシー開園
アメリカ同時多発テロ事件発生
- 10月 米Apple社がiPod発表
「障害者地域自立生活支援センター」開設(豊島
区)
- 11月 JR東日本がSuicaのサービスを開始
「西部子ども家庭支援センター」開設(豊島区)
- 12月 「東部子ども家庭支援センター」開設(豊島区)
- 2月 ソルトレークシティオリンピック開幕
- 3月 千登世橋中学校新校舎完成(豊島区)

2002（平成14）年度事業実績

— 主な事業 —

- 4月16日 総会 東京商工会議所豊島支部青年部発足
中村安次氏が初代幹事長就任
- 6月24日 若手区議会議員との懇談会
- 6月～9月 夢サポート事業「小学生絵画展」
- 7月17日 高野之夫前豊島区長との懇談会
「現状の豊島区が抱える問題と、今後の豊島区の
向かう方針」について
- 10月4日 上海静安区人民政府代表团との懇談会・夕食会
「相互が抱える経営環境について意見交換」
- 10月17日 ゴルフ親睦会
ゲスト：東商豊島支部金融副分科会長
巢鴨信用金庫理事長 田村和久氏
- 12月7日 夢サポート事業「夢の課外授業スペシャル」
読売ジャイアンツ 工藤公康選手(当時)
- 3月18日 夢サポート事業「小学生絵画展示会」
- ～4月6日
- 3月29日 夢サポート事業「歌手・ダンサー編」
協力：エイベックス・アーティストアカデミー



夢サポート事業
「小学生絵画展示会」



夢サポート事業
「野球教室」



夢サポート事業
「ダンス教室」

— 主な出来事 —

- 4月 新資源回収スタート(8品目12分別)(豊島区)
- 5月 池袋西口公園野外ステージ完成、区に寄贈
(豊島区)
FIFAワールドカップKoreaJapan開幕
- 6月 23区初・ホームページにバナー広告募集
(豊島区)
- 9月 「防災サミット」開催(豊島区)
- 10月 「区制施行70周年記念式典」開催(豊島区)
- 12月 区民の歌「としま未来へ」完成(豊島区)
- 1月 区制施行70周年記念事業「江戸川乱歩展」、
「名誉区民洋画家／森田茂作品展」を開催
(豊島区)
- 2月 区立小学校児童による「子ども区議会」を開催
(豊島区)
- 3月 営団半蔵門線水天宮前駅 - 押上駅開通

2003（平成15）年度事業実績

— 主な事業 —

- 4月21日 総会
- 10月9日 ゴルフ親睦会
ゲスト：東商豊島支部金融分科会長
巢鴨信用金庫理事長 田村和久氏
- 11月10日 東京青年会議所豊島区委員会、豊島法人
会青年部会、豊島区商店街連合会
合同懇談会「現状や今後の課題について
意見交換」
- 12月13日 夢サポート事業「サッカー選手編」
FC東京の協力を得て実施
- 1月28日 東商4支部(足立、江戸川、台東、豊島)
青年部合同賀詞交歓会
- 3月14日 東商4支部(足立、江戸川、台東、豊島)
青年部合同ゴルフコンペ



夢サポート事業
「サッカー教室」

— 主な出来事 —

- 4月 郵政事業庁が日本郵政公社に
東京ディズニーランドが開園20周年
- 5月 小惑星探査機はやぶさが打ち上げられる
- 7月 区長の交際費と公務スケジュールを区ホームペ
ージで全面公開(豊島区)
世界水泳選手権100m平泳ぎで北島康介が世界
新記録で優勝
- 9月 豊島区議会ホームページを開設(豊島区)
阪神タイガースが18年ぶりリーグ優勝
- 10月 東海道新幹線品川駅が開業
豊島区と秩父市が姉妹都市提携20周年を迎え、
記念式典を開催(豊島区)
- 11月 第2次小泉内閣発足
- 3月 「豊島区観光振興プラン」を策定(豊島区)

2004（平成16）年度事業実績

— 主な事業 —

- 4月19日 総会・豊島区若手区議会議員との懇談会
- 7月24日 こどもたちと芸術家がふれあう街2004
フェスティバル in 池袋運営協力
- 7月28日 高野之夫前豊島区長との懇談会
- 10月3日 ふくる祭り・東京よさこいコンテスト運営
協力
- 11月26日 東商4支部(足立、江戸川、台東、豊島)
青年部正副幹事長会議
- 12月11日 FC東京の協力による夢サポート事業
「サッカー選手編」実施
- 1月18日 東商4支部(足立、江戸川、台東、豊島)
青年部合同賀詞交歓会
- 3月19日 ハッピーハッピー。氏プロデュース
夢サポート事業「お笑い芸人編」



夢サポート事業
「サッカー教室」



夢サポート事業
「お笑い教室」

— 主な出来事 —

- 4月 東京メトロ運行開始
区役所本庁舎で大都市災害を想定した「大規模
都市災害合同訓練」を実施(豊島区)
- 8月 AFCアジアカップ2000にて日本が優勝・2連覇
アテネオリンピック開幕
- 10月 野球・イチロー選手が262本のヒットのMLB
記録達成
新潟県中越地震が発生
新潟県中越地震の被災地への緊急支援を実施
(豊島区)
- 11月 池袋駅周辺を歩きたばこ禁止重点エリアと定め、
「としま喫煙マナー」をスタート(豊島区)
- 12月 「文化芸術創造都市の形成」が内閣府より地域
再生計画に認定される(豊島区)
- 2月 中部国際空港セントレアが愛知県常滑市に開港
- 3月 日本国際博覧会(愛知万博)「愛・地球博」が開幕
「豊島区自治基本条例区民会議案」を区長へ提
出(豊島区)

2005（平成17）年度事業実績

— 主な事業 —

- 4月19日 総会・豊島区若手区議会議員との懇談会
- 5月12日 東京青年会議所豊島区委員会、豊島法人
会青年部会との懇親会
- 7月1日 東商議員企業三菱商事(株)役員との懇談会
「中国ビジネスの最新事情」
- 7月8・9日 ゴルフ懇親会
- 9月24・25日 ふくる祭り・東京よさこいコンテスト
- 、10月1・2日 東京よさこいコンテストの運営協力
- 11月25日 東商4支部(足立、江戸川、台東、豊島)
青年部正副幹事長会議
- 12月10日 夢サポート事業「サッカー選手編」
- 1月20日 小池百合子環境大臣(当時)との懇親会
「環境問題、地域情勢、青年部との連携」
- 3月2日 東商4支部(足立、江戸川、台東、豊島)
青年部合同ゴルフコンペ



(株)三菱商事との懇談会

— 主な出来事 —

- 4月 「としまNPO推進協議会」発足(豊島区)
- 6月 「池袋協働のまちづくりフォーラム」開催(豊島区)
- 7月 日本人宇宙飛行士野口聡一氏が搭乗したスペース
シャトル「ディスカバリー号」の打ち上げに成功
- 9月 日本国際博覧会(愛知万博)「愛・地球博」が閉幕
「文化創造都市宣言」を区議会で議決(豊島区)
- 10月 豊島区と宮城県が相互交流宣言(豊島区)
- 11月 池袋駅東口に「豊島区観光情報センター」を開設
(豊島区)
- 12月 「豊島区と立教大学による教育連携の協定」締結
(豊島区)
- 2月 トリノ冬季オリンピック開幕 フィギュアスケート
で荒川静香選手が金メダルを獲得
- 3月 第1回 ワールド・ベースボール・クラシックが開幕
日本が優勝

2006（平成18）年度事業実績

— 主な事業 —

- 4月25日 総会・豊島区若手区議会議員との懇談会
- 5月18日 小池百合子議員宿舎訪問
- 6月20日 横浜元町SS会視察会
- 10月1日・2日 ふくろ祭り・東京よさこいコンテスト運営協力
- 10月5日 東商議員企業(株)資生堂との懇談会
「中国ビジネスの最新事情」
- 11月10日 ゴルフ懇親会
- 3月10日 夢サポート事業「サッカー選手編」
- 3月24・25日 夢サポート事業「歌手・ダンサー編」公開ダンスレッスン
協力:エイバックス・アーティストアカデミー、(株)サンシャインシティ



小池百合子議員宿舎訪問



横浜元町SS会視察会



(株)資生堂との懇談会



夢サポート事業
「サッカー教室」



夢サポート事業
「ダンス教室」

— 主な出来事 —

- 4月 地域区民ひろば、区内11か所で本格実施(豊島区)
地域包括支援センターが、区内8か所にオープン(豊島区)
- 5月 「新庁舎整備方針(素案)」発表(豊島区)
- 6月 FIFAワールドカップドイツ大会の開幕
「目白バ・ロック音楽祭」開催(豊島区)
- 8月 冥王星が惑星から除外 新設された準惑星に分類される
- 9月 安倍晋三氏が第90代内閣総理大臣に就任
としま健康づくり大学開校(豊島区)
- 11月 那須烏山市と防災協定を締結(豊島区)
- 1月 千島列島沖地震が発生
- 3月 文化と品格を誇れる価値あるまちへ「未来戦略推進プラン2007」策定(豊島区)
豊島区教育ビジョン策定(豊島区)

2007（平成19）年度事業実績

— 主な事業 —

- 4月18日 青年部卒業生送別会
- 5月8日 総会・豊島区若手区議会議員との懇談会
- 7月14日 中小企業庁金融課との懇談会
- 9月22・23日 ふくろ祭り・東京よさこいコンテスト
- 、10月6・7日 東京よさこいコンテスト運営協力
- 10月25日 東京青年会議所豊島区委員会、豊島法人会青年部会との懇談会
- 11月5日 高野之夫前豊島区長との懇談会
- 11月27日 東商4支部(足立、江戸川、台東、豊島)青年部正副幹事長会議
「各支部青年部の現状、今後の課題、合同事業」
- 1月22日 東商4支部(足立、江戸川、台東、豊島)青年部合同新年会
- 3月8日 夢サポート事業「サッカー選手編」



中小企業金融課との懇談会



夢サポート事業
「サッカー教室」

— 主な出来事 —

- 4月 「子どもの医療費助成制度」の対象拡大(豊島区)
- 5月 ゴルフの石川遼選手が15歳で日本のツアー史上最年少優勝の快挙
「区民と区長の対話集会」開催(豊島区)
- 6月 アメリカ合衆国で初代iPhoneが発売開始
- 7月 東海道・山陽新幹線の新型車両N700系運行開始
新潟県中越沖地震が発生
新中央図書館開館(豊島区)
- 9月 福田康夫氏が第91代内閣総理大臣に就任
劇場「あうるすぽっと(区立舞台芸術交流センター)」オープン(豊島区)
- 10月 「防災サミットIN箕輪」長野県箕輪町で開催(豊島区)
- 11月 「豊島区と区内大学との連携・協働に関する包括協定」締結・「としまコミュニティ大学」開校(豊島区)
- 1月 「再生自転車海外譲与活動20周年記念フォーラム」開催(豊島区)
- 3月 帝京平成大学と「災害時における相互協力に関する協定」を締結(豊島区)

2008（平成20）年度事業実績

— 主な事業 —

- 4月22日 総会・豊島区若手区議会議員との懇談会
- 10月12日 東京よさこいコンテスト(巣鴨会場運営協力)
- 11月14日～16日 北九州エコタウン視察会 初の宿泊視察会を開催
- 11月25日 高野之夫前豊島区長との懇談会
- 12月13日 豊島区教育委員会主催「第三回いきいき部活動」協賛
- 2月28日 夢サポート事業「サッカー選手編」※雨天中止
- 3月14日 夢サポート事業「ダンサー編」



夢サポート事業
「ダンス教室」

— 主な出来事 —

- 4月 環境基本条例が施行(豊島区)
「豊島こども平日準夜間救急クリニック」を開設(豊島区)
- 5月 豊島区の人口26万人達成(豊島区)
- 6月 東京メトロ副都心線開業
- 8月 北京オリンピックが開幕 ソフトボール競技決勝で日本がアメリカを破り金メダル
- 9月 リーマン・ショックが表面化
麻生太郎氏が第92代内閣総理大臣に就任
目白図書館リニューアルオープン(豊島区)
- 10月 「防災サミットin魚沼」開催、魚沼市で災害時の連携を宣言(豊島区)
- 11月 豊島区と6大学の地域連携に関する懇談会を開催(豊島区)
- 1月 米国バラク・フセイン・オバマ2世氏が第44代大統領就任
- 3月 第2回 ワールド・ベースボール・クラシックが開幕
日本が優勝
Echica(エチカ)池袋オープン

2009（平成21）年度事業実績

— 主な事業 —

- 4月28日 学校の森植樹祭運営協力
(駒込中学校・清和小学校・西池袋小学校・高南小学校)
- 4月28日 総会・豊島区若手区議会議員との懇談会
- 7月14日 高野之夫前豊島区長との懇談会
- 9月17日 日本商工会議所会員総会・会員大会
- 10月11日 東京よさこいコンテスト運営協力
- 10月23・24日 北海道視察会 石狩商工会議所青年部との懇談会
- 12月17日 東京青年会議所豊島区委員会・豊島法人会青年部会との年末懇談会
- 2月19日 東商議員企業 長谷部建設(株)との懇談会
「今後のアジア各国とのビジネスの在り方について」「若手経営者に期待すること」
代表取締役社長 長谷部亮平氏
- 3月6日 夢サポート事業「サッカー選手編」
- 3月11～13日 としまものづくりメッセ青年部ブース出展



豊島区若手区議会議員との
懇談会



石狩商工会議所青年部との
懇談会



夢サポート事業
「サッカー教室」

— 主な出来事 —

- 4月 記念碑「トキワ荘のヒーローたち」の除幕式開催(豊島区)
- 5月 裁判員制度施行
- 6月 豚インフルエンザがパンデミック宣言
- 7月 ピアニスト辻井伸行さんに「豊島区文化功労表彰」を贈呈(豊島区)
- 8月 株式会社そごう・西武誕生
- 9月 民主党代表の鳩山由紀夫氏が第93代内閣総理大臣に任命 政権交代
- 11月 埼玉県秩父市と、友好都市協定「ふくろう協定」を締結(豊島区)
- 12月 文化庁長官表彰受賞記念「フェスティバルコンサート」開催(豊島区)
- 2月 バンクーバーオリンピック開幕
世界保健機関(WHO)が推進する「セーフコミュニティ」への取組を宣言(豊島区)
- 3月 「豊島区ワーク・ライフ・バランス推進企業」を認定(豊島区)

2010（平成22）年度事業実績

— 主な事業 —

- 4月20日 総会
新倉弘識氏が第2代幹事長就任
- 7月12日 卒業式
- 8月4日 高野之夫前豊島区長との懇談会
- 10月10日 東京よさこいコンテスト運営補助
- 10月19日 勉強会 「リンパケアによる健康管理」
木村友泉氏
- 11月24日 豊島区議会議員との懇談会
- 1月20日 勉強会 「国際競争力と知的財産マネジメント」 弁理士 新井信昭氏
- 1月28・29日 福岡視察会
- 2月19日 夢サポート事業「サッカー選手編」
- 3月7日 東商議員企業 (株)モスフードサービスとの懇談会 「モスバーガーのポジショニング戦略」 執行役員社長室長 阿部隆史氏
- 3月31日 東日本大震災義援金 池袋駅街頭募金活動



総会



(株)モスフードサービスとの懇談会

— 主な出来事 —

- 4月 南池袋二丁目A地区市街地再開発事業「基本設計概要」が完成(豊島区)
- 6月 菅直人氏が第94代内閣総理大臣に就任
FIFAワールドカップ南アフリカ開幕
「池袋副都心整備ガイドプラン」策定(豊島区)
- 8月 山形県村山市と「非常災害時における相互応援に関する協定」を締結(豊島区)
- 9月 尖閣諸島中国漁船衝突事件が発生
- 12月 東北新幹線が新青森まで開業
都内初「豊島区がん対策推進条例」制定(豊島区)
- 3月 東日本大震災発生
九州新幹線が全線開業
豊島区長「区民を守る宣言」(豊島区)

2011（平成23）年度事業実績

— 主な事業 —

- 4月26日 総会
- 5月24日 勉強会 「大震災で都市機能が消失、その時医療は」
(財)東京都保健医療公社大久保病院医師
鈴木智彦氏
- 6月15日 勉強会 明治大学経営学部教授 岡田浩一氏
- 6月30日 豊島区議会議員との懇談会
- 7月19日 勉強会 (株)創発としま代表取締役 小林俊史氏
- 10月20日 豊島区内3団体青年部交流会
- 11月2日 渡邊藤郎豊島支部副会長(青年部担当役員)
との懇談会
- 11月11・12日 東北視察会 一関商工会議所青年部との懇談会
陸前高田市にて被災地支援(桜の植樹)
- 11月22日 勉強会 としまビジサポ山本浩治氏
- 1月18日 勉強会 弁護士筒井剛氏
- 2月18日 夢サポート事業「サッカー選手編」
- 2月21日 勉強会 (株)セルフデザイン・ホールディングス
(当時) 代表取締役会長 古澤暢央氏
- 2月28日 東商議員企業(株)東京ドームとの懇談会
総務部担当部長 幸山竜哉氏



東北視察会



夢サポート事業「サッカー教室」



(株)東京ドームとの懇談会

— 主な出来事 —

- 4月 豊島区議会議員・区長選挙。高野区長が4選(豊島区)
- 6月 セーフコミュニティ国際認証事前審査、としま安全・安心フェスタ2011(豊島区)
- 7月 FIFA女子サッカーワールドカップドイツで日本が初優勝 「なでしこジャパン」がブームに
地上デジタル放送へ完全移行
建築家・隈研吾氏を豊島区参与(都市政策顧問)に委嘱(豊島区)
- 9月 野田佳彦氏が第95代内閣総理大臣に就任
「震災対策推進本部」設置(豊島区)
都内初、罹災証明書発行訓練実施(豊島区)
- 10月 「第一回緑のカーテン東京フォーラムin池袋」開催(豊島区)
- 11月 「お国自慢in池袋(全国観光都市PR展)」開催(豊島区)
「池袋北口路上美術館」オープン(豊島区)
- 2月 東京スカイツリー竣工
- 3月 栃木県那珂川町と「観光交流都市協定(ふくろう協定)」締結

2012（平成24）年度事業実績

— 主な事業 —

- 4月21・22日 さんりく春の子どもまつり 一関商工会議所青年部に協力
- 4月26日 総会 池田裕一氏が第3代幹事長就任
- 7月12日 勉強会 講師:カラーセラピスト 石井亜由美氏
「仕事を200%伸ばす!色のチカラ」
- 9月19日 石橋孟紘氏による勉強会
『今が輝く!』スケジューリング術」
- 11月11日 10周年事業「第1回としまおやこコンサート」
- 11月13日 豊島区内3団体青年部交流会
- 12月16日 東商議員企業 凸版印刷(株)との懇談会
「ペーパーレス化時代への対応」
秘書室室長 吉本晋司氏
- 2月8日 福岡視察会
- 2月16日 豊島支部青年部が豊島区文化功労表彰を受賞
- 2月23日 夢サポート事業「FC東京サッカークリニック」



としまおやこコンサート



10周年集合写真

— 主な出来事 —

- 5月 クールビズ開始
飯能市、秩父市、西武鉄道(株)と「西武線沿線サミット協定」締結(豊島区)
- 7月 ロンドンオリンピック開幕
- 8月 消費税法改正案が参院本会議で可決
- 10月 豊島区制施行80周年記念式典&みんなの絆コンサート開催、「未来へのメッセージ」発信(豊島区)
「セーフコミュニティ・サミットinとしま」開催(豊島区)
- 12月 安倍晋三氏が第96代内閣総理大臣に就任
- 1月 秋田県能代市と教育連携協定締結、全国初の「教育」をテーマにした自治体間連携(豊島区)
- 2月 東京マンガ・アニメカーニバルinとしま開催(豊島区)
- 3月 東京メトロ副都心線の東急東横線・西武池袋線・東武東上線の相互直通運転開始
区制施行80周年を記念し、桜をデザインした新シンボルマーク制定(豊島区)

2013（平成25）年度事業実績

— 主な事業 —

- 4月23日 総会・豊島支部青年部設立10周年記念懇親会
- 5月24日 夕張桜守植樹協力
- 8月3日 高野之夫前豊島区長との懇談会
- 10月10日 豊島区内3団体青年部交流会
- 10月22日 勉強会「マリンレジャーと海の安全」
海上保安庁警備救難部救難課マリンレジャー安全推進室 武山晃浩氏
- 2月7日・8日 鹿児島視察会(鹿児島市内及び知覧訪問)
- 2月20日 勉強会 「海外に渡航・滞在する日本人の安全対策について」 外務省領事局邦人テロ対策室
主席事務官東南アジア専門官 田子内進氏
- 2月22日 夢サポート事業「FC東京サッカークリニック」
- 3月19日 東商議員企業三菱地所(株)との懇談会
街ブランド企画部 副長 渡邊眞幸氏
主事 板倉紀代子氏



10周年記念懇談会



高野前区長との懇談会



夢サポート事業
「FC東京サッカークリニック」



鹿児島視察会

— 主な出来事 —

- 4月 グランフロント大阪が開業
豊島区の人口が27万人を突破(豊島区)
- 5月 都内初!がん先進医療の融資利子補給事業で区内金融機関と協定締結(豊島区)
- 10月 東北楽天ゴールデンイーグルスが設立後初優勝
豊島区、川越市、東松山市、寄居町が連携して地域の魅力を発信 東武東上線沿線サミット開催(豊島区)
- 12月 事業者と帰宅困難者対策の連携に関する協定締結(豊島区)
- 2月 ソチオリンピック開幕
- 3月 あべのハルクスが大阪市阿倍野区に完成
民間調査「首都圏住みたい街ランキング」で池袋が第3位に躍進!(豊島区)

2014 (平成 26) 年度事業実績

— 主な事業 —

- 4月21日 総会
- 6月29日 第2回としまおやこコンサート
- 8月6日 高野之夫前豊島区長との懇談会
- 9月17日 勉強会「消費マーケットの激変とホスピタリティビジネス」
立教大学観光部 特任教授 玉井和博氏
- 10月16日 豊島区内4団体青年部交流会
- 10月22日 勉強会 「まちイラストで自慢&まちおこし」
(株)TONEGAWA 代表取締役 利根川英二氏
- 11月20日 勉強会 「BSCとマネジメント」
立教大学経営部 特任教授 保科悦久氏
- 11月28日~29日 神戸視察会
- 12月17日 東商本部ビル視察会・忘年会
- 1月20日 勉強会 「社長、できるんです！節税しながら年金づくり」 ファイナンシャルプランナー 野原亮氏
- 2月18日 勉強会 「歴史に学ぶ日本企業の研究～日本企業の「道と心」経営～」
長岡大学経済学部 教授 松本和明氏
- 2月21日 夢サポート事業「FC東京サッカークリニック」
- 3月16日 東商議員企業 丸紅経済研究所との懇談会 所長 美甘哲秀氏



としまおやこコンサート



神戸視察会

— 主な出来事 —

- 4月 消費税が5%から8%に増税
- 5月 「消滅可能性都市緊急対策本部」設置(豊島区)
- 6月 富岡製糸場と絹産業遺産群の世界文化遺産登録決定
FIFAワールドカップブラジル開幕
- 7月 としまの未来を考えるワールド・カフェ「としま100人女子会」開催(豊島区)
- 8月 女性にやさしいまちづくりを目指して「としまF1会議」スタート(豊島区)
- 9月 子育て中のママたちが大集合「リトル・ママフェスタ東京2014」開催(豊島区)
- 10月 池袋駅東口のグリーン大通りでオープンカフェ設置の社会実験実施(豊島区)
池袋ハロウィンコスプレフェスティバル2014開催(豊島区)
- 12月 日本人3名人(赤崎勇氏・天野浩氏・中村修二氏)がノーベル物理学賞受賞
- 2月 北陸新幹線長野駅 - 金沢駅間開業

2015 (平成 27) 年度事業実績

— 主な事業 —

- 4月30日 総会
原正晃氏が第3代幹事長就任
- 6月23日 勉強会「ストレス無く成果のでる営業術」
(株)ブラッドストーン 代表取締役 川島亮一氏
- 7月21日 勉強会「児童虐待について」
東京都福祉保健局医療政策担当部長 矢沢知子氏
- 7月30日 高野之夫前豊島区長との懇談会
- 9月16日 豊島区若手区議会議員との懇談会
- 10月9日 勉強会「災害時の行動傾向と災害神話」
明治大学危機管理研究センター 野上達也氏
- 10月27日 豊島区内4団体青年部交流会
- 11月2日 勉強会 「企業成長の要となる中間管理職育成のノウハウ」 (株)アセット・アドバイザー 代表取締役 安食正秀氏
- 11月13日・14日 金沢視察会
- 2月8日 東商議員企業セントラルスポーツ(株)との懇談会
取締役経営企画室長 松田友治氏
- 2月27日 夢サポート事業「FC東京サッカークリニック」
- 3月3日~5日 としまものづくりメッセ青年部ブース出展
- 3月23日 勉強会 「危機管理とリーダーシップ」明治大学公共政策大学院ガバナンス研究科 佐々木一如氏



総会



四団体交流会



としまものづくりメッセ

— 主な出来事 —

- 4月 豊島区議会議員・豊島区長選挙 高野区長5選(豊島区)
- 5月 旧庁舎閉庁、新庁舎オープン!(豊島区)
- 6月 国際公募展「アート・オリンピック2015」開催(豊島区)
- 7月 豊島区の人口が28万人を突破(豊島区)
- 8月 新総合防災システム構築、世界初の「群衆行動解析システム」導入(豊島区)
- 9月 安全保障関連法案が可決
- 11月 日本郵政グループ3社が東証一部に上場
「防災サミットin豊島」開催(豊島区)
- 1月 マイナス金利政策の採用の発表
- 2月 「池袋駅周辺地域都市再生緊急整備協議会」が設立(豊島区)
- 3月 北海道新幹線新青森駅 - 新函館北斗駅間開業
旧庁舎・公会堂閉庁イベント「としまミュージアム」開催(豊島区)

2016 (平成 28) 年度事業実績

— 主な事業 —

- 4月25日 総会
- 6月12日 一関・陸前高田視察会
- 7月8日 豊島法人会青年部会との役員交流会
- 8月1日 高野之夫前豊島区長との懇談会
- 8月25日 東商中野支部青年部役員との懇談会
- 10月26日 豊島区内4団体青年部交流会
- 2月8日 豊島区若手区議会議員との懇談会
- 2月25日 夢サポート事業「FC東京サッカークリニック」
日本茶の体験企画 協力:(株)伊藤園
- 3月14日 東商議員企業ANAホールディングス(株)との懇談会
秘書部長 村部由佳夫氏
全日本空輸(株) 企画室企画部長 平澤寿一氏



一関・陸前高田視察会



高野前区長懇談会



ANAホールディングス(株) 懇談会



FC東京サッカークリニック兼 お茶体験

— 主な出来事 —

- 4月 熊本地震の発生
熊本地震被災地へ心の支援「熊本城修復豊島支援金」募集(豊島区)
- 6月 「国際アート・カルチャー都市構想実現戦略」策定(豊島区)
- 7月 全国初、東武百貨店池袋本店・西武池袋本店に参議院選挙期日前投票所開設(豊島区)
雑司ヶ谷鬼子母神堂が国重要文化財に指定(豊島区)
- 8月 リオデジャネイロオリンピック開幕
- 9月 「東京芸術祭2016」、池袋で初開催(豊島区)
- 10月 「池袋オータムカルチャーフェスティバル」開幕(豊島区)
- 1月 米国ドナルド・ジョン・トランプ氏が第45代大統領就任
- 2月 「住みたい街ランキング」で池袋が1位に(豊島区)
- 3月 「東京アニメアワードフェスティバル2017」池袋で開催(豊島区)

2017 (平成 29) 年度事業実績

— 主な事業 —

- 4月1日 **東京商工会議所青年部(東京YEG)が活動開始**
- 4月17日 総会
東京信用金庫様からの青年部へ寄附
- 7月20日・21日 2020東京オリンピック・パラリンピックPR活動
- 8月1日 高野之夫前豊島区長との懇談会
- 10月31日 豊島区内4団体青年部交流会
- 11月16日 講演会 「もっと自信を付けたい人のためのビジネスブレイクスルーセミナー」
開成中学校・高等学校 校長
東京大学名誉教授 工学博士 柳沢幸雄氏
- 11月19日-21日 高知視察会 (高知県庁・防災関連企業訪問・高知商工会議所青年部との懇親会)
- 2月1日 東商議員企業 森ビル(株)との懇談会
都市政策企画室長 成吉栄氏
- 2月24日 夢サポート事業「FC東京サッカークリニック」
- 3月8日 豊島区若手区議会議員との懇談会

※青字は本部青年部主催23支部青年部会員参加事業



東京信用金庫からの寄付



高知視察会



柳沢幸雄氏講演会



森ビル懇親会

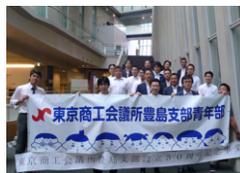
— 主な出来事 —

- 4月 GINZA SIXが開業
全国初!自治体庁舎同一施設内に認可保育園オープン(豊島区)
- 5月 「としま産業振興プラザ(IKE・Biz)」オープン(豊島区)
- 6月 将棋・藤井聡太四段が29連勝
- 8月 豊島区が2019年「東アジア文化都市」の国内候補都市に決定(豊島区)
- 10月 23区初、ワーク・ライフ・バランスの推進に向け「時差勤務」本格実施(豊島区)
- 11月 「時差Biz推進賞(ワークスタイル部門)」受賞(豊島区)
「2017アジア・パラアート-書-TOKYO国際交流展」開催(豊島区)
- 2月 平昌オリンピックが開幕
「トキワ荘関連施設整備基金」創設(豊島区)

2018 (平成 30) 年度事業実績

— 主な事業 —

- 4月16日 総会
- 6月10日 第3回としまおやこコンサート
- 8月1日 高野之夫前豊島区長との懇談会
- 10月31日 豊島区内4団体青年部交流会
- 12月11日 豊島区若手区議会議員との懇談会
- 1月16日 講演会 「経営者とがん ～がん社会を診る～」
東京大学医学部附属病院 准教授 中川恵一氏
- 2月23日 夢サポート事業「FC東京サッカークリニック」
- 3月6日 東商議員企業 東日本旅客鉄道(株)との懇談会
総合企画本部 品川・大規模開発部
課長 山崎敦司氏
事業創造本部 品川まちづくり部門
副課長 天内義也氏
- 3月19日 勉強会
ウィルチェアー(車いす)ラグビー日本代表
リオデジャネイロパラリンピック銅メダリスト官野一彦氏



おやこコンサート



四団体青年部交流会



JR東日本懇談会

— 主な出来事 —

- 4月 「(改正)豊島区建物等の適正な維持管理を推進する条例」施行(豊島区)
- 5月 東京都民銀行・八千代銀行・新銀行東京の三行が合併し『きらぼし銀行』が発足
並木ハウスが国有有形文化財に登録(豊島区)
- 6月 FIFAワールドカップロシア開幕
- 7月 豊島区の人口が29万人を突破(豊島区)
- 9月 区立小中学校のすべての体育館に冷暖房の一斉導入を表明(豊島区)
安心・安全・安住のまちを目指す「としまセーフシティ作戦」発表(豊島区)
- 10月 築地市場が閉場し豊洲市場に移転
- 1月 「トキワ荘マンガミュージアム」建築工事着工(豊島区)
アニメイトと豊島区の共同制作「池袋PRアニメ」完成発表(豊島区)
- 2月 「東アジア文化都市2019豊島」開幕式典開催(豊島区)

2019 (令和元) 年度事業実績

— 主な事業 —

- 4月22日 総会
 - 8月8日 高野之夫前豊島区長との懇談会
 - 8月28日 豊島区内4団体青年部交流会
 - 11月1日 東京商工会議所豊島支部 渡邊裕之第4代会長就任
 - 12月11日 (公社)日本プロゴルフ協会会長 倉本昌弘氏講演会
 - 1月29日 東商23支部青年部幹事長と本部青年部役員との新年懇親会
 - 2月12日 東商本部及び支部青年部合同例会ボウリング大会
(ゲスト:プロボウラー森彩奈江氏)
 - 2月22日 夢サポート事業「FC東京サッカークリニック」
※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止
 - 3月9日 東商議員企業 (株)東京會館との懇談会
※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止
 - 3月13日 豊島区若手区議会議員との懇談会
※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止
 - 3月15日~16日 熱海視察会
※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止
- ※青字は本部青年部主催23支部青年部会員参加事業



総会



高野前区長との懇談会

— 主な出来事 —

- 4月 新元号「令和」が発表される
- 5月 「令和」に改元
「芸術文化劇場」竣工(豊島区)
- 6月 「マンガの聖地としま!モニュメント」お披露目会(豊島区)
- 9月 IKEBUKURO新能「能楽Quest」開催(豊島区)
ラグビーワールドカップが日本開催 日本代表が初のベスト8に
- 10月 消費税率が8%から10%に引き上げ
- 11月 Hareza池袋開業(豊島区)
造幣局跡地の防災公園の愛称が「イケ・サンパーク」に決定(豊島区)
GLOBAL RING開業(豊島区)
- 1月 新型コロナウイルスの感染者を日本で初確認
- 2月 手塚治虫直筆のトキワ荘天井板が豊島区に贈呈(豊島区)
- 3月 高輪ゲートウェイ駅が開業
新型コロナウイルスの感染拡大で東京オリンピックの1年延期が決定

2020（令和2）年度事業実績

— 主な事業 —

- 4月 深山大介氏第5代幹事長就任
- 12月21日 三村明夫東京商工会議所第21代会頭講演会
- 12月22日 東商23支部青年部幹事長会議

※新型コロナウイルスの感染拡大のため予定事業中止

※青字は本部青年部主催23支部青年部会員参加事業

— 主な出来事 —

- 4月 新型コロナウイルスの感染拡大を受け初の緊急事態宣言が発令される
- 6月 日比谷線の虎ノ門ヒルズ駅が開業
税・保険料をスマートフォンから支払えるシステムを導入(豊島区)
- 7月 レジ袋有料化が義務化
「トキワ荘マンガミュージアム」開業(豊島区)
- 8月 としまえんが閉園
- 9月 マイナポイント事業が開始
菅義偉氏が99代内閣総理大臣に就任
- 11月 「としま文化の日」記念式典を開催(豊島区)
- 12月 映画「鬼滅の刃」の興行収入が歴代一位に
イケ・サンパーク開業(豊島区)
- 1月 「大学入試センター試験」の後継となる「大学入学共通テスト」が開始される
米国ジョセフ・ロビネット・バイデン・ジュニア(ジョー・バイデン)氏が第46代大統領就任
- 2月 日本で新型コロナウイルスワクチン接種が開始
- 3月 区内の文化・観光特集サイト「IKE-CIRCLE」が公開(豊島区)

2021（令和3）年度事業実績

— 主な事業 —

- 4月19日 総会
- 6月23日 東商議員企業(株)龍角散との懇談会 代表取締役社長 藤井隆太氏
- 7月14日 東商23支部青年部幹事長会議
- 10月20日 東商支部青年部幹事長懇談会
- 11月2日 講演会 「100年企業を継ぐ～事業承継の心構えと企業の挑戦～」
(株)文明堂東京 代表取締役社長 宮崎進司氏
(有)元祖鮎もなか本店 代表取締役 古田花恵氏
(有)元祖鮎もなか本店 専務取締役 古田憲司氏
- 12月6日 豊島区内4団体青年部交流会
- 12月20日 渡邊裕之豊島支部会長との懇談会
- 2月7日 講演会 「先見力で読む!10年後の未来予想図～あなたは変革の時代に勝ち残れますか～」
慶應義塾大学大学院メディアデザイン研究科 教授 岸博幸氏
- 2月18日 TOKYO YEG AWARD 2021
豊島支部青年部よりコスモプリンツ(株)丸山靖雄氏がエントリー



(株)龍角散との懇談会



四団体交流会

— 主な出来事 —

- 4月 野外クラシックコンサート「Tokyo Music Evening Yube」を再開(豊島区)
- 7月 東京オリンピックが開幕
日本たばこ産業株式会社、および(株)Nature Innovation Groupと傘のシェアリングサービス「アイカサ」を開始(豊島区)
- 8月 オイテル(株)との連携事業により、生理用ナプキン無料提供サービスを区施設3か所で開始(豊島区)
- 10月 岸田文雄氏が第100代内閣総理大臣に就任
眞子さまが小室圭さんと結婚
- 11月 新500円硬貨が発行
大谷翔平選手がMLBでMVPに選ばれる
- 12月 トキワ荘マンガミュージアムにて、特別企画展「鉄腕アトム」展開催(豊島区)
- 2月 北京オリンピックが開幕
- 3月 長野県長野市と「集客プロモーションパートナー都市協定」を締結(豊島区)

2022（令和4）年度事業実績

— 主な事業 —

- 4月28日 総会
- 5月21日 夢サポート事業「FC東京サッカークリニック」
- 6月26日 第4回としまおやこコンサート
- 9月3日 講演会 「子どもの夢をカタチにするために、サッカーが出来ること」 サッカー元日本代表 北澤豪氏
- 10月27日 東商23支部青年部幹事長会議
- 11月18日 長崎視察会（文明堂総本店・軍艦島訪問）
- 11月28日 豊島区内4団体青年部交流会
- 1月26日 「ドローンで広がる現場でのDX」
ドローン・ジャパン(株) CEO 春原久徳氏
- 2月10日 TOKYO YEG AWARDS 2022
豊島支部青年部より(株)スズキトミー
鈴木進太郎氏がエントリー
- 2月13日 東商議員企業 東日本電信電話(株)(NTT東日本)
懇談会
- 2月25日 夢サポート事業「FC東京サッカークリニック」
- 3月26日 講演会 「なりたい自分に向かって、やってみよう！
える社会へ」 運動遊びプログラム「Jump-JAM」
バスケットボール女子日本代表チーム
ヘッドコーチ 恩塚亨氏



北沢豪氏講演会



長崎視察会



NTT東日本
懇談会



Jump-JAM

— 主な出来事 —

- 6月 「豊島区DX推進計画」を策定(豊島区)
- 7月 安倍晋三元首相銃撃事件発生
- 8月 各種証明書のオンライン申請事業がスタート
(豊島区)
- 9月 西九州新幹線の武雄温泉駅～長崎駅間が開業
- 10月 区制施行90周年を迎える(豊島区)
「豊島大博覧会」開催(豊島区)
- 11月 FIFAワールドカップカタール開幕
「平和祈念展in豊島～戦争を知らない子どもたちへ～」開催(豊島区)
トキワ荘マンガミュージアムで特別企画展「藤子不二雄(A)のまんが道展」開催(豊島区)
- 2月 24年間豊島区政を担った高野之夫前区長逝去
(豊島区)
- 3月 ワールド・ベースボール・クラシックで日本が14年
ぶりに優勝

2023（令和5）年度事業実績

— 主な事業 —

- 4月26日 総会
- 6月26日 高際みゆき豊島区長との懇談会
- 7月7日 東商議員企業勉強会「人に喜ばれる企業経営」
(株)グリーンハウス 代表取締役 田沼千秋氏
- 8月30日 防災施設そなエリア東京体験、防災学習・
防災カルタ防災標語グループワーク
- 9月19日 講演会「ビジネスにマインドフルネスを
取り入れよう！頭の中を整理し、パフォーマンス
を高めるために～」
(株)Melon 代表取締役 橋本大祐氏
- 10月3日 東商23支部青年部幹事長と本部青年部役員との懇談会
- 11月17日～18日 博多視察会
- 11月27日 講演会「AI×経営：未来のリーダーシップ」
(株)サクスUP CEO 松山将三郎氏
- 11月29日 豊島区内4団体青年部交流会
- 12月8日 目黒・豊島支部青年部合同例会
- 2月18日 夢サポート事業「FC東京サッカークリニック」
- 3月5日 TOKYOYEG AWARDS 2023 豊島支部青年
部より(株)リバレンス上野和馬氏がエントリー
- 3月5日 東商23支部青年部・本部青年部意見交換会
- 3月6日 東商議員企業 TOPPANホールディングス(株)
との懇談会



高際みゆき区長との懇談会



(株)グリーンハウスとの懇談会



博多視察会



東商目黒支部青年部との
合同例会

— 主な出来事 —

- 4月 高際みゆき区長就任(豊島区)
- 6月 官民連携プラットフォーム「チームとしま」スタート
(豊島区)
- 8月 セブン&アイ・ホールディングスがストライキを執行
し西武池袋本店が終日営業禁止に
- 9月 区立小・中学校の給食費無償化(豊島区)
- 10月 インボイス制度の開始
- 11月 麻布台ヒルズが完成 日本一の高さに
秩父市との姉妹都市提携40周年(豊島区)
- 1月 能登半島地震が発生
- 2月 日経平均株価が史上最高値を更新
- 3月 北陸新幹線金沢駅-敦賀駅間で延伸開業

編集後記



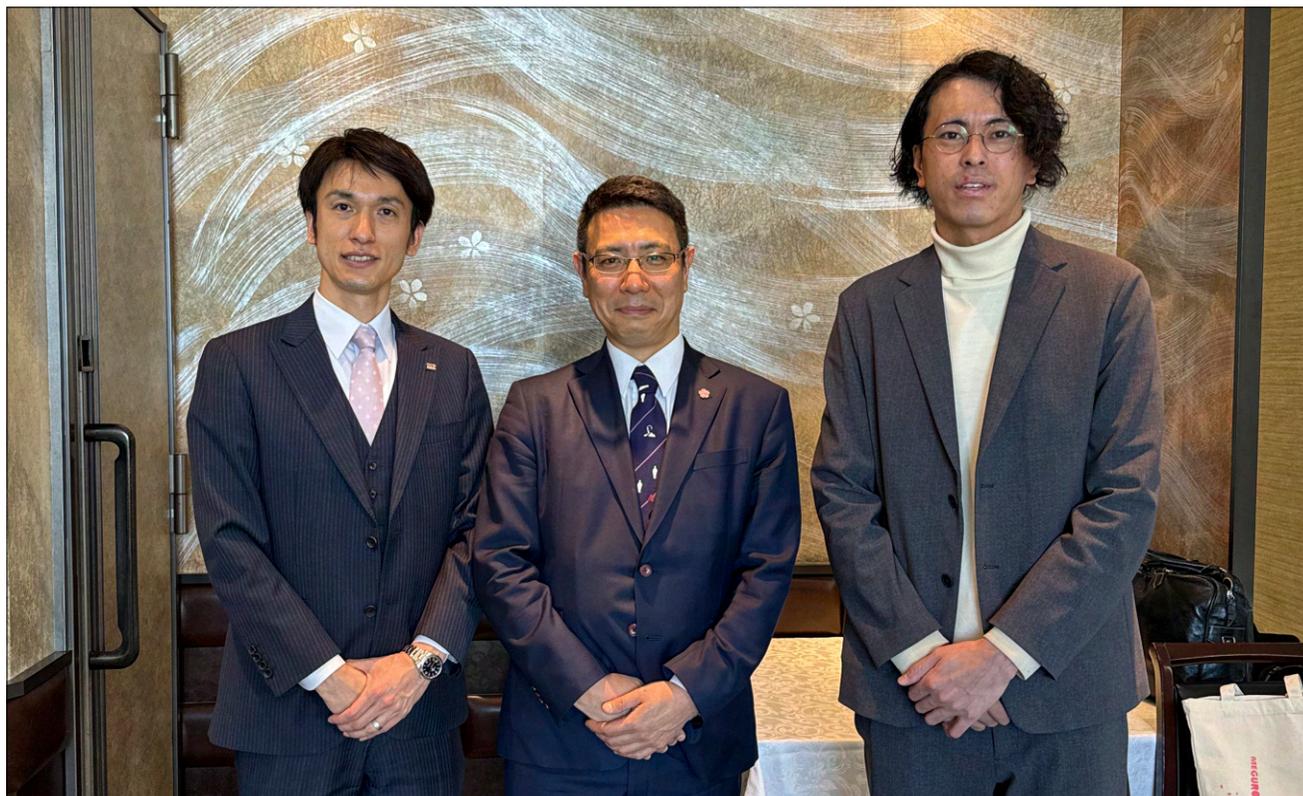
東京商工会議所
本部青年部副会長
豊島支部青年部副幹事長
設立20周年記念誌制作
委員会委員長
倉田大輔

「想えば長い歳月を過ごして来た」、それが私の東京商工会議所豊島支部青年部への正直な思い出だ。2008年豊島支部設立40周年記念式典パーティで青年部の先輩方と出会い、どういう活動をしているかなど話を聞く中で、何だか面白そうだなと直感的に感じて入会を決めた。私が携わる医療という世界は異業種の人達と交流する機会が非常に限られている。実社会に出ていながら知らないことが多く、名刺交換の仕方はじめビジネスマナーや知識を青年部会員はもとより、事務局の皆さんにも教えてもらいながらの日々だった。入会当時から諸先輩に、青年部とは「様々な事業担当をすることで自分自身が学び、楽しみ、成長する場」、「(個人ではなく)東京商工会議所という看板を背負っているからこそ活動出来る重み」をしっかり頭に入れて活動するように言われ続けてきた。確かに入会する前に見え感じていた社会とは異なる世界がそこには広がっていた。

豊島支部青年部だけでなく本部青年部にも携わることで、より多くの企業や経営者の方々と接する中で改めて「自分自身の未熟さ」を痛感し、更に研鑽を積む必要性を感じている。

東京商工会議所初代会頭渋沢栄一翁は「逆境の時こそ力を尽くす」といった金言を遺している。近年、リーマンショックや東日本大震災、コロナ禍といった企業を取り巻く社会環境は厳しさを増している。個々の事業者単体の力に限界があったとしても、「青年部で培った経験は自らの血や肉となり決して無駄になることは無い」と、私は信じている。

この度、設立20周年記念誌を作成するにあたり、豊島支部・青年部だけでなく、東京商工会議所本部・本部青年部、他支部青年部、他商工会議所の皆さんなど非常に多くの方々にご協力頂いたことに謝意を表したい。



東京商工会議所豊島支部青年部設立20周年記念誌

発行 令和6年3月31日
発行人 東京商工会議所豊島支部青年部
幹事長 深山 大介(東建設株式会社)

制作 20周年記念誌制作委員会
委員長 倉田 大輔(池袋さくらクリニック)
委員 渡辺 康弘(渡邊建設株式会社)
*20周年記念事業実行委員会実行委員長

委員・デザイン 上野 和馬(株式会社リバレンス)
委員 杉浦 龍太郎(東京商工会議所豊島支部事務局)

東京商工会議所豊島支部

〒171-0021

東京都豊島区西池袋2-37-4としま産業振興プラザ(IKE・Biz)4階

TEL:03-5951-1100 FAX:03-3988-1440

＼ 豊島支部青年部公式 SNS はじめました！ ／





挑みつづける、変わらぬ意志で。

 東京商工会議所